

写真で振り返る

2014年 下関この1年

皆さんにとっての、今年の重大ニュースは何ですか。平成26年度は「元気・飛躍！下関」をキーワードに、さまざまな施策を展開しました。写真とともに下関のこの1年を振り返ります。

- ①住民自治によるまちづくりの推進(通年)
- ②馬関港開港150周年(通年)
- ③新しい勝山公民館がオープン(2月4日)
- ④豊北総合支所新庁舎竣工(2月22日)
- ⑤ふくふくこども館オープン(4月1日)
- ⑥火の山公園トルコチューリップ園「オルハン・スヨルジュ記念園」命名記念式典(4月11日)
- ⑦2014ほたるサミット下関(6月20日)
- ⑧旧下関英国領事館リニューアルオープン(7月18日)
- ⑨海響館入館者数1,000万人達成(8月3日)
- ⑩「下関満関善席」誕生(10月17日)



2月

④下関市役所豊北総合支所の新庁舎が完成し、2月22日に竣工式典を開催。耐震性能が確保され、豊北地域行政の総合窓口、地域振興及び防災拠点となる庁舎として、3月3日から業務を開始した。

2月



③新下関地域に公民館、保健センター、支所の各機能を備えた地域間交流の拠点施設がオープン。公民館には音楽ホールも備え、オープン以降多くの方に利用されている。



6月

⑦「日本一のホテルの里」を目指す全国6市町の指導者が下関市豊田町に会い、6月20日に「2014ほたるサミット下関」を開催。観光・経済・文化交流などの促進を図った。



7月

⑧平成20年12月から行ってきた保存修理工事が終わり、7月18日に重要文化財旧下関英国領事館がリニューアルオープン。同日、駐日英国大使館よりジュリア・ロングボトム公使(臨時代理大使)を招いてオープニングイベントを開催した。



②下関港は「馬関港」開港から150周年を迎えた。これにあわせて、帆船「日本丸」「海王丸」の同時寄港や多くのクルーズ客船が寄港し、「ふく鍋」や「海峡上臈絵巻」の上演などのおもてなし歓迎イベントを実施。9月には長州出島(沖合人工島)に初めて客船が着岸した。



①「住民自治によるまちづくり」に関する事項を定めた「下関市住民自治によるまちづくりの推進に関する条例(平成27年1月1日施行)」を公布。この取り組みを推進するための「下関市住民自治によるまちづくり推進計画」を策定し、市民と市が一緒になって地域課題の解決や地域活性化に取り組む。



4月

⑤3月にJR下関ビルが、7月にシネマコンプレックスがオープンするなど下関駅周辺整備が進んだ。4月1日には、JR下関駅ビル3階に、市民交流と子育て支援の拠点施設「ふくふくこども館」がオープン。7月に、年間目標利用者数10万人を達成。館内は市内外から訪れる子どもたちの笑顔であふれている。



4月

⑥イラン・イラク戦争中、イランに取り残された日本人215人を救出したトルコ・イスタンブール市出身の故トルコ航空元機長オルハン・スヨルジュ氏を顕彰するため、火の山公園トルコチューリップ園に「オルハン・スヨルジュ記念園」の名を付した記念碑を設置。4月11日に駐日トルコ共和国大使館とトルコ航空より来賓を迎え、命名記念行事を開催した。

下関満善席

究極の味わい、豪華に、贅沢に。

下関の産、フルコースで召し上がり。

（一社）下関観光コンベンション協会
TEL.083-223-1144
http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/kankou/

10月

⑩本市のブランド食材である、ふくやくじら、垢田トマトなどを使った下関オリジナルフルコース「下関満善席」が誕生。現在15店舗が認定を受けて、絶品料理を提供している。

8月



⑨平成13年4月1日の開館以来、8月3日におよそ13年4カ月で入館者数1,000万人を達成。達成当日、海響館2階エントランスホールで1,000万人目のお客様を迎え、記念式典が行われた。